

仕事人！グラウンドキーパー 前編



バンテリンドーム ナゴヤで日々開催されるドラゴンズ戦。これに欠かせないのが戦いの場を作るグラウンドキーパーたちです。プロ野球の試合前後にどのような作業が行われているのか、写真と共にご紹介します。今回は試合中までの前編をお届け！

試合開始5時間半前 (デーゲーム開催時8:30ごろ、ナイトゲーム開催時12:30ごろ)

通常のプロ野球開催時には、グラウンドキーパーは7名勤務します。バッティングゲージや防球ネットを定位置に置くなど、試合前の練習に向けた準備を開始(図①)。

マウンド付近のCDマークはくり抜かれたシート状の型の上から石灰をふりかけ、毎試合描いています(図②)。ピッチャーズプレートも汚れのないようきれいに拭き掃除。画像左後ろではCDマークの形が崩れないよう、上から霧吹きで水をかけています(図③)。



①練習前の準備



②CDマークの描画過程

③CDマークの仕上げとピッチャーズプレートの拭き掃除

試合開始4時間前 (デーゲーム開催時10:00ごろ、ナイトゲーム開催時14:00ごろ)

ドラゴンズの打撃練習がスタート。その後、ビジターチームやドラゴンズの守備練習へと移ります。

ブルペンも彼らの仕事場のひとつです。養生シートをはがし、ブラシやトンボを使用してマウンドを整備(図④⑤)。こちらのプレートも同様に拭いています。グラウンドキーパーたちが各々てきぱきと仕事を進めている様子が伝わってしょうか。

④ブルペンの養生シートはがし



⑤ブルペンの整備

試合開始10分前 (デーゲーム開催時13:50ごろ、ナイトゲーム開催時17:50ごろ)

いよいよ試合開始が近づいてきました！ 守備練習終了後にファウルライン、そして最後にバッターボックスのラインを引き、グラウンドを整えます(図⑥)。



⑥バッターボックスライン引き

試合中

試合が始まったら、バックネット裏の控室でグラウンドの様子を監視(図⑦)。整備の時間に素早く対処できるよう、状況把握に努めます。また、グラウンドで選手にトラブルが発生した場合には、審判の指示を受けストレッチャーを持って駆けつけることも。隠れた重要任務です。

試合中のグラウンド整備は3回・5回・7回裏終了時(図⑧)。よく観戦にいらっしゃっている方は、ピンとくるかもしれません。これは球団マスコットやチアドラゴンズのパフォーマンスタイムです。この間に、選手たちの全力プレーで荒れてしまったグラウンドを整備。5回裏終了時にはバッターボックスのラインを引き直します。



⑦試合中に待機する控室



⑧試合中の整備

さて、今月はここまでです。この続きは来月号で試合終了後の作業をお伝えします。ぜひ楽しみに！

